

シンクタンク、学術機関、行政機関、経済産業団体との連携

1. 「地方シンクタンク協議会」との連携

地域に根ざした課題の調査研究や提言活動に携わるシンクタンクで構成される「地方シンクタンク協議会」は、シンクタンク相互の交流を深めることにより、地域における政策研究の質的向上を図り、地域の自立発展に寄与することを目的に活動している。7月に金沢市で開催されたフォーラムでは、当センターより「東日本大震災～被災の状況と復興のあり方について～」と題し説明を行うなど、本部大での積極的な情報交換を行った。

また、当センターは「地方シンクタンク協議会東北・関東ブロック」の事務局を務め、12月に一般財団法人青森地域社会研究所の協力の下、青森市内で第31回目となる研修交流会を開催した。

2. 各地域ブロックの活性化センターとの連携

地域開発や産業活性化等に寄与することを目的に設立された各地域の活性化センター10団体では、毎年輪番により「全国産業活性化センター連絡会議」を開催し、情報交換等を行っている。平成23年度は富山県高岡市において開催された。

3. 「全国地域技術センター連絡協議会」

全国各地に設立された科学技術や産業技術活性化のための諸機関によって構成される「全国地域技術センター連絡協議会」では、各地域の技術発展のため、広域的な技術の振興と産業の発展に寄与すること目的に活動している。

全国の地域技術センター10団体では毎年輪番により地方会議を開催しており、平成23年度は震災復興支援の観点から、平成22年9月の八戸市開催に続き、当センターが事務局となり、風評被害が大きい福島県会津若松市において、全国の地域技術センター会議を開催した。

[会議の概要]

日時・場所： 平成23年9月29日、30日（於 会津若松市）

議 題： 東日本大震災義援金対応、近況と意見交換

講 演：①「今後の地域技術政策の方向性」

経済産業省地域経済産業グループ 地域技術課 課長補佐 浅川浩二 様

②「原子炉事故対策への取り組み」

公立大学法人会津大学 理事長兼学長 角山 茂章 様

③「会津若松市の現状と観光」

会津若松市観光商工部商工課課長 目黒 只法 様

視察会： 会津オリンパス株式会社、福島県ハイテクプラザ会津若松支援センター等

4. 東北域内の各シンクタンク、学術機関、行政機関、経済産業団体との連携

「知をつなぎ、地を活かす」ことを念頭に、調査研究事業をはじめとした各事業において連携あるいは情報交換を行うなど、多重的な「知のネットワーク形成」に努めた。